

【津松阪港】

日時：(第1回)平成23年10月3日(月) 10時00分～11時30分 …(○)
(第2回)平成23年11月28日(月) 10時00分～11時30分 …(●)
(第3回)平成24年 2月19日(日) 15時00分～16時30分 …(◇)

構成員：(座長)三重大学名誉教授、(自治体)三重県、津市、松阪市
(経済団体・企業)津商工会議所、松阪商工会議所、三重海運(株)、セントラル硝子(株)、辻製油(株)、
ヴァーレ・ジャパン(株)、津エアポートライン(株)、ユニバーサル造船(株)、JFEエンジニアリング(株)
(関係行政機関)四日市海上保安部、鳥羽海上保安部
(事務局)中部地方整備局

津松阪港 検討会議での構成員からの主な発言内容

1. 地震・津波対策の現状について

- 対策として社員教育や避難訓練を進めている。【民間】
- 岸壁の耐震化や、護岸の液状化対策を実施中。【自治体】
- M9に対応した津波シミュレーションを実施中。(10月3日公表)【自治体】
- 津波に対する避難訓練の実施、BCPセミナーの実施状況について報告。【民間】
- 船舶避難に関する会議開催状況を報告。【国】
- 避難ビルの指定や避難経路の確保など、津波避難計画に関する検討状況を報告。【自治体】
- ◇ 三重県が公表したM9.0の浸水図は、避難路・避難所検討のため暫定版として公表したものであり、想定を超える津波に対し啓発する目的。【自治体】

2. 今後の地震・津波対策について

- 人の命が一番。【民間】
- ハード的な整備を進めていく一方、避難におけるソフト対策も重要。【民間】
- 地震等の発生時の対応・対策を進める。【民間】
- 東日本大震災をうけて、老朽化対策を緊急的に対応していく。【自治体】
- 海岸護岸のみならず、河川からの遡上についても検討が必要。【自治体】
- 情報を正確かつ速やかに共有できるシステム構築が必要。【自治体】
- 松阪港の防波堤、防潮堤の老朽化対策を要望。【民間】
- 有事の際に、一体的(国・県・市)な体制構築が必要。【民間】
- 港湾BCP等について連携して検討していきたい。【民間】

津松阪港 地震・津波対策検討会議（第1・2・3回）について

津松阪港 検討会議での構成員からの主な発言内容（つづき）

- ◇当会議にて情報提供されたデータを参考に企業BCPに反映していきたい。【民間】
- ◇想定地震・津波をどのように設定するかが課題。【民間】
- ◇H23d新規として認められた海岸事業について1年でも早く完成してほしい。【民間】
- ◇津市では、今年、地域防災計画の津波対策編を作成した。現在、ソフト対策、避難ビルの指定など進めている。平成24年から2年間に災害対応集中強化年間として抜本的な見直しを進めていく。ハード面や様々な津波対策の総合的な支援、指導をお願いしたい【自治体】
- ◇河川からの津波の遡上も考えられる。耐震化等、河川堤防に関する検討も必要。【自治体】
- ◇来年度より避難計画、港湾BCPの策定に取り組んでいく。引き続き、関係者の方には協力していただきたい。【国】
- ◇この地震津波対策検討会議における、ご意見を十分に参考にして、さらに検討を深化させ早急な対応を期待する。【座長】

津松阪港の実情や課題を踏まえつつ、関係者で戦略的に取り組むべき事項を示した「津松阪港の地震・津波対策に関する基本方針」を協働で策定した。